



OWS
Research and Education
Non-profit organization
The Oceanic
Wildlife Society

REPORT 2016

2015.04~2016.03

特定非営利活動法人 OWS
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレ一代々木704



沿革

- 1998年 11月●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置
- 1999年 02月●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置
06月●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置
09月●東京都NPO法人の認証取得
- 2000年 02月●各種会員の募集開始
03月●会報「季刊エブオブ」創刊
08月●公式ホームページ開設
- 2001年 02月●OWS会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏
就任
06月●「ネイチャースクール(自然体験プログラム)」開始
- 2002年 01月●「OWSネイチャーガイド養成コース」開始
04月●「アンガウル州立自然公園プロジェクト」開始
09月●事務局を目黒区下目黒に移転
10月●「海のセミナー」開始
- 2003年 06月●「水中ゴミ調査」開始
09月●アンガウル州立自然公園ビジターセンターオープン
11月●「海のトークセッション」開始
- 2004年 01月●ジャック・T・モイヤー会長逝去
05月●長谷川博氏(東邦大学理学部教授)、OWS会長就任
06月●「海辺の自然教室」開始
- 2005年 09月●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始
10月●事務局を豊島区雑司が谷に移転
- 2006年 01月●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始
- 2007年 07月●「OWS 5人の写真展(巡回写真展)」開始
- 2008年 03月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」開始
05月●「砂浜海岸生物調査」開始
- 2009年 08月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」探索調査開始
09月●「ネイチャースクール 日帰りプログラム」開始
- 2010年 03月●「造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行
05月●「海辺のナチュラリスト講座」開始
- 2011年 04月●東日本大震災 被災地支援活動開始
06月●ミッドウェー環礁調査ツアー実施
- 2012年 06月●「江奈湾干潟保全活動」開始
06月●「未来に残したい海」プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始
12月●子どもフォトコンテスト開始
- 2013年 04月●江奈湾・毘沙門湾干潟生物調査開始00
07月●海洋ゴミ企画展開始
11月●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転
- 2015年 04月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁
サンゴモニタリング調査 開始・新「サンゴ調査プロジェクト」開始

組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとられたものです)		
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレ一代々木704 TEL: 03-6432-9917 FAX: 03-5960-3546 URL: http://www.ows-npo.org/ E-mail: info@ows-npo.org		
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。		
役員	会長 副会長	長谷川 博 倉田 洋二	東邦大学理学部名誉教授 元小笠原水産センター所長
	代表理事 副代表理事 理事 理事 理事 理事 理事 理事 監査役	横山 耕作 高砂 淳二 安斎 晃 福田 秀人 杉森 雄幸 森 紀子 田中 雅子 宮川 貴子 吉岡 宏治	
	学術顧問 法律顧問	秋山 章男 矢田 誠	元東邦大学理学部教授 新麻布法律事務所 弁護士

2015年度の活動実績

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 ネイチャーガイド養成コースの開催 海辺の自然教室の開催	6～10月 8月 9月	神奈川 関東 神奈川	741,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 「海のトークセッション」の開催(1回) 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 企画展「海洋ゴミについて考えよう!」の開催 海洋ゴミに関する講演「海洋ゴミを考える」の開催 「未来に残したい海」子どもフォトコンテスト開催	年4回 5月 随時 7・11月 7・10月 7～12月	全国 東京 全国 東京 東京 全国	381,000
調査研究事業	造礁サンゴ・モニタリング調査 造礁サンゴ・探索調査	7～2月 10月	全国 静岡	6,929,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動(投棄ゴミ・漂着ゴミの回収処分・雑草刈り、ヨシ原管理等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査	4～3月	神奈川	414,000

ネイチャースクール



●オリンパス協働「未来に残したい海プロジェクト」 海辺の自然観察&カメラ教室 +クラフト教室

- ①6/20 社員家族及び一般<三浦半島>
- ②7/5 社員家族及び一般<三浦半島> 雨天中止
- ③7/27 クラフト教室 <オリンパスプラザ>

◆カメラ教室

作品は子どもフォトコンテストに応募

◆クラフト教室

自然観察時に材料採集

●港区立エコプラザプログラム 講師派遣 海辺の自然観察

- ① 6/21 <お台場> +プランクトンとマイクロプラ観察
- ②10/10 <三浦半島> +クラフト教室



開催回数: 4回 参加者数: 67名

ネイチャーガイド養成コース・海辺の自然教室

● ネイチャーガイド養成コース(NTC)

コアコース(2週末コース)

①9月12日～13日

②9月21日～22日



● 海辺の自然教室

8月1日 「江奈湾干潟全域のカニ調査&アカテガニの産卵観察会」

講師: 柚原剛(東北大学)

セミナー実施!



会報「季刊 エブオブ」の発行

57号～60号 全4回発行

- **4月発行(春号) Vol.57**
特集:「ウミガメ保全の課題と展望」
執筆:松沢慶将(ウミガメ協議会会長)
- **7月発行(夏号) Vol.58**
特集:「辺野古・大浦湾の生物多様性の危機」
執筆:花輪伸一(ラムサールネットワーク日本・理事)
- **10月発行(秋号) Vol.59**
特集:「江奈湾干潟の環境と生きもの」
執筆:柚原剛(東北大学)・多留聖典(東邦大学)・横山
- **1月発行(冬号) Vol.60**
特集:「韓国海洋ごみ問題に関する現状と対策」
執筆:ホン・ソヌク(韓国NPO法人・OCEAN代表)



海のトークセッション

● 第73回 全1回開催

開催日：5月18日

「～陸が変われば海も変わる～ 開発行為に伴うサンゴ礁浅海域の変化」

講演者：長谷川均(国土舘大学)

参加者数：34名



海洋ゴミ問題に係る活動

● 環境学習用 写真パネルの無償貸出

貸出数：2回



原町聖愛保育園(福島県)環境学習の時間



● 環境学習用 写真パネルの長期貸出

貸出数：2回

①通年 石巻市のNPOへ貸出・活用

②6月～8月 よこはま動物園ズーラシア「海の生き物SOS！展」にて展示

● 写真データの貸出

貸出数：2回

海洋ゴミ問題に係る活動

● 企画展「海洋ゴミについて考えよう！」

① 7月1日～7月30日

展示会場：港区立エコプラザ＜浜松町＞

② 10月1日～10月31日

展示会場：リサイクルセンターあだち再生館



● 海洋ゴミに関する講演

① 7月22日 エコプラザ企画展連動講座

港区立エコプラザ＜浜松町＞

講演：横山耕作

② 11月10日 きのくに国際高等専修学校

ECOM駿河台

講演：横山耕作



子どもフォトコンテスト



●第4回「未来に残したい海・子どもフォトコンテスト」

応募期間 : 7月20日～11月9日

審査 : 11月20日

審査員 : 高砂淳二・杉森雄幸

入賞 : 40点

表彰式 : 12月6日

児童16名・保護者32名参加



●入賞作品展 13カ所で開催



造礁サンゴ・モニタリング調査

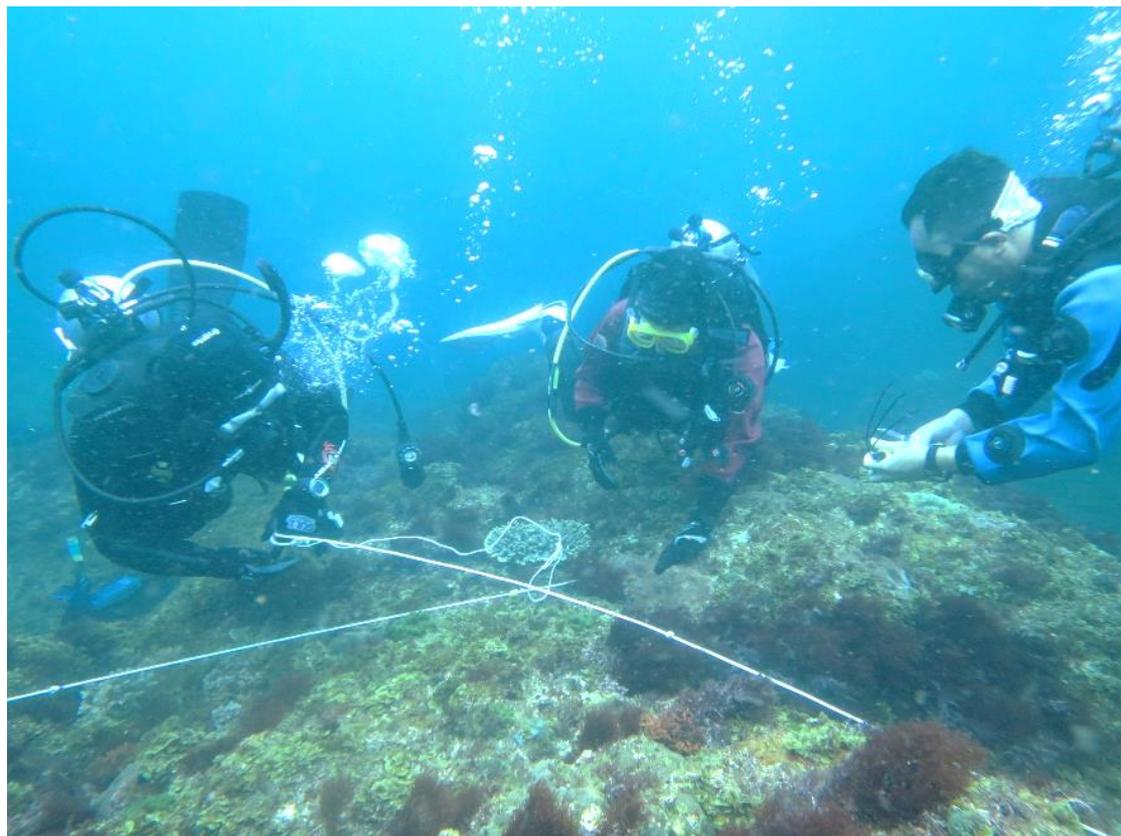
温暖化影響評価のための海洋モニタリング委託業務

●モニタリング調査 全国10カ所を実施

各調査の実施

- ①五島 11月
- ②坂田 11月
- ③沖ノ島 11月
- ④安良里 12月
- ⑤田子 12月
- ⑥竜串 12月
- ⑦対馬 01月
- ⑧壱岐 01月
- ⑨串本 02月
- ⑩天草 02月

参加者合計 65名(延)



造礁サンゴ・探索調査

●探索調査の取組み

※沼津市静浦調査 海況不良中止

①富戸調査 10月3日 参加者7名



2015

江奈湾干潟保全活動

- ゴミ回収活動

5回開催 1,132kg回収

- 干潟生物市民調査 1回開催

絶滅危惧Ⅱ類⇒6種

準滅危惧種 ⇒17種

情報不足 ⇒4種 計 27種

干潟ベントス種 計 240種

- モニタリング(自然観察会) 9回開催

延116名参加

干潟生物の動向が少しずつ明らかに！！

干潟生物WEB図鑑公開



＜助成・活動協賛＞

【活動助成】

東洋ゴムグループ環境保護基金	江奈湾干潟保全活動
ラッシュジャパン株式会社	江奈湾干潟保全活動
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ	活動全般

【活動協賛・協力】

オリンパス株式会社／株式会社グリーンロード
リコージャパン株式会社／株式会社モンベル

＜業務受託＞「温暖化影響評価のための海洋モニタリング」

国立研究開発法人国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査

＜OWS法人賛助会員(スポンサー)＞ (五十音順)

高砂写真事務所
パラオ・スプラッシュ
株式会社ピックルスコアポレーション
株式会社フィットクルー
有限会社ロブ・クラシック

＜寄付・募金＞(五十音順)

【寄付】 リコージャパン株式会社

【募金協力】 AQROS／麻よしやす／コアアウトフィッターズ／サンセットリゾートダイブセンター
スキルアップスタジオ THE 101／株式会社ビーイズム／料理工房8番テーブル

2016年度の活動予算

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
環境教育事業	ネイチャースクール(環境学習プログラム)の開催 海辺の自然教室(クラフト教室)の開催 ネイチャーガイド養成コースの開催	6～10月 7月 年間	神奈川 東京 全国	866,000
普及啓発事業	会報「季刊エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ゴミの写真パネル)の貸出 環境をテーマとした写真展の開催 講演「海洋ゴミを考える」の開催 「海のトークセッション」の開催(1回) 「未来に残したい海」子どもフォトコンテスト開催	年4回 随時 7月 随時 東京 7～12月	全国 全国 全国 関東 東京 全国	589,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査 造礁サンゴ探索調査	10～3月 7～3月	全国 静岡	5,686,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動(投棄ゴミ・漂着ゴミの回収処分・雑草刈り、ヨシ原管理等) 干潟生物市民調査、モニタリング調査	4～3月	関東	377,000